

平成 29 年度 金融相談等活動助成報告会の開催

平成 29 年 10 月 20 日（金）、アルカディア市ヶ谷（東京・千代田区）において「平成 29 年度 金融相談等活動助成報告会」が開催されました。

同報告会は、ゆうちょ財団の金融相談等活動助成事業の助成を受けて実施している団体の活動報告を通して、多くの皆様に事業内容を理解していただくとともに、同様の活動を実施している団体間の交流やコミュニケーションを深めることを目的としており、今回で 6 回目の開催となります。

報告会は 2 部構成で行われました。

第 1 部の「活動報告会」は、最初に特定非営利活動法人楽の会リーラ様から「ひきこもり・発達障がいなどの生きづらさのある子を持つ保護者向け『親亡き後の生活設計相談会』」についてのご報告をいただきました。

同活動は、ひきこもり・発達障がいなどの生きづらさのある人とのその保護者を対象にした相談会の開催が中心です。

ひきこもりは現在、社会問題化しており、内閣府が 15～39 歳を対象に行った調査では、全国に約 54 万人いると推計されていますが、40 歳以上の実態は把握されていません。

ひきこもりに対する支援は、主に若者を想定しており、就労支援は対象が 30 歳代までのことも多いのが現状です。しかし、「40・80」問題と言われるように、ひきこもりの子が 40 歳、それを支える親が 80 歳というケースも珍しくなく、40 歳以上の人の支援は大きな課題となっています。

今回の報告会では、相談活動を通して見えてきた課題や今後の展望等について、自らがひきこもりの経験を持つ同会事務局の大橋史信氏からお話をいただきました。

続いては、優秀活動賞の表彰を行いました。優秀活動賞は、年度内の助成対象活動の中から、特に優れた活動を表彰するものです。

第 1 回の優秀活動賞に選ばれたのは、特定非営利活動法人いわき F P・e-らいふ様の「震災復興ライフプラン（道筋）相談会」です。

同活動は、東日本大震災による津波や福島原発の事故による被災者・避難者向けに、福島県いわき市・郡山市内の仮設住宅集会所を主な会場に、生活設計相談会の開催を永年にわたり継続してきたものです。

表彰式では、ゆうちょ財団の朝日理事長より、いわき F P・e-らいふの大川幸子理事長に、賞状と賞金が渡されました。

表彰式後の活動報告では、同活動の紹介のほか、活動の歩みを映したビデオの上映も行われました。

第1部では、このほか、ゆうちょ財団より、活動助成事業の概要説明のほか、平成30年度活動助成募集要項の記入にあたってのポイント・注意点等について説明が行われました。

引き続いての第2部の「交流会」では、各団体が意見や情報の交換などを行う場面が多く見られ、有意義な時間となりました。

平成30年度活動助成の募集は既に始まっており、平成29年12月11日（月）が締切りとなります。来年度も多くの有意義な活動の申請をお待ちしています。



ゆうちょ財団 朝日理事長の開会挨拶



特定非営利活動法人 楽の会リーラ



優秀活動賞表彰式



特定非営利活動法人
いわきFP・e-らいふ